

第2510地区 第11グループ

函館東ロータリークラブ 会報 2014~2015

第2776回

10月28日(火)

本日のプログラム

「観月例会」於：煌

次週のプログラム 11月4日(火)

「ロータリー財団月間について」

矢島 千穂 会員

ロータリーをもっと学ぼう明日のために

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ●副会長/森元浩 ●会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ●副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

2014~2015年度 RI会長
ゲイリーC.K.ホアン(黄 其光)



第2775回例会 2014年10月21日(火)天候 晴

月間テーマ 職業奉仕月間・米山月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 五十嵐 稔 会長

■賓客

函館RC 原一彰 氏

函館北RC 松見修二 氏

七飯RC 山内一男 氏

■会長報告

1、14日当ホテルにてクラブアッセンブリーを開催いたしました。

■委員会報告

1、親睦活動委員会: 10/28観月例会を煌で開催。送迎バスをロワジールホテル前と本町交番向いに用意します。

2、ローターアクト委員会: 10/25函館大学において羽部ガバナーを迎えてR A C例会を開催します。

■幹事報告

1、青森東RCより会報が届いておりますので、回覧願います。

2、25日函館RC創立80周年記念式典にご参加の会員は、五島軒本店にて午後4時点鐘ですので、ご確認ください。

3、29日函館北RC自主例会、30日函館RC自主休会へそれぞれ例会変更しております。

「国際奉仕委員会 タイ訪問について」

1. 事業日時 国際奉仕委員会 委員長 小林 真樹 会員

2014年11月21日(金)から11月26日(水)

2. 参加人員

五十嵐会長、國谷幹事、吉田昇会員、小林国際奉仕委員長の計4名

3. 事業内容

タイ国内において身障者に対するインフラ整備は、十分とは言えない環境の中、障がいを抱えることで教育を受けることができない多くの子どもたちがいる現状です。

私たち函館東ロータリーとして、少しでも多くの車椅子を寄贈することで子どもたちが教育を受けられ、又地域コミュニティに参加しやすい環境づくりの一因となるよう貢献したい。

尚、この事業は、地区補助金を受けた事業となります。詳細は以下の通りです。

- 1) タイウィール工場での車椅子組立見学及び、組立体験
- 2) アントーン県特殊教育センターでの贈呈式
- 3) 障がいを持つ子供の自宅訪問
- 4) タイ バンコクスリウォンロータリークラブ例会参加
- 5) その他現地で可能な関連事業等



2013年、時田委員長が実施した事業の継続事業となります。前回の検証と自らの目で見、体験した事を新たなロータリアンとしての国際貢献活動に生かしていきたいと考えております。

認定npo法人 アジア車いす交流センター wafca 最近の活動

[10/8-11 瑞学生ジェッサー君来日!]

先週、WAFCAの奨学生プログラムについての報告と、瑞学生的日本での体験型研修のため、WAFCATスタッフ、瑞学生、職業訓練学校の先生が来日しました!

瑞学生的代表として来日したジェッサーくん、最初は緊張した様子でしたが、最終日には笑顔で「ありがとう!」と日本語も話してくれるようになりました。

来日中の様子は次号のホッ!ニュースでお届けします♪



【ホッ!とニュース126号発行のお知らせ】
9月は中国フレンドシップツアーがありました。ぜひご一読くださいね!
<http://wafca.jp/archives/3153>



ホッ!とニュース126号 | WAFCA
wafca.jp

[1]タイ活動報告: 8月車いす寄贈報告 ~ウボンラチャタニ県、トラン県など7県に計45人へ車いす寄贈~8月にWAFCAより車いすを受取った子を紹介します。

① 車いすの生産・普及事業

～アジアでの車いす普及をめざして～

車いす工場の生産支援

2000年3月にタイ政府及び障がい者団体と協力し、「障がい者自らが車いすを生産する」工場“Thai Wheel”を設立。生産設備の導入とともに、技術者を常時派遣し、生産技術や生産管理支援を継続して行っています。現在Thai Wheelでは「障がい者による障がい者のための車いす」が年間1,800台以上生産されています。

また、2007年にオープンした中国車いす生産工場の設立準備のため、タイから技術スタッフを派遣し、タイウィール工場立ち上げ支援の経験を生かした効果的な支援を行っています。



バンコク隣県にある Thai Wheel 工場



Thai Wheel で働く障害者

車いすの普及活動

「外に出たい」、「学校へ行きたい」、そんな障がい児の願いをかなえるため、Thai Wheel で生産された車いすを買い上げ、タイを中心にアジアの障がい児へ車いすを寄贈しています。これまでにタイやアフガニスタンをはじめとするアジアの障がい児に 1,600 台以上の車いすを届けました。

また、寄贈した車いすを無料で修理する車いすメンテナンスキヤラバンも実施。修理活動を通して、障がい者や他の支援団体との交流活動を推進しています。



初めて車いすに乗り笑顔を見せる
ワラーボーンちゃん

車いす技術者の育成

タイ、ラオス、マレーシア、ベトナム、アフガニスタンなどから車いす技術者をタイに招請。アジアの国々の車いすの製造、修理技術向上を目的とした国際研修を開催しました。

さらに、タイ国内においては、受講者が各地域に戻り、車いす修理ができるように、修理工房の設立を支援しています。



タイの車いす製造・修理研修

② 障がい児教育支援事業

～障がい児の教育機会の拡大をめざして～

タイ東北地方での教育支援

“ダルニー奨学金”で知られる日本民族交流センターと協働で、総合的な就学支援活動を行っています。学校や地域の理解と協力を得て、車いすと奨学金の提供、学校費差額、障がい理解啓発セミナー、教員研修などの活動を行うことで「学校に行きたい」という障がい児の夢を応援しています。



学校に通い始め、多くの友だちを得た
ノンブアランプー県のモンディーちゃん



対象児童宅を訪問し寄贈後の車いすの状況確認やリハビリ指導を行う

バリアフリーのモデル校づくり

タイの地域の小・中学校に障がい児用トイレやスロープを設置し、障がい児が健常児とともに学べる環境づくりを行っています。また、バリアフリーモデル校支援を通して、さらにその地域の、障がい者及び弱者支援に対する意識を高めることも目的としています。



ノンブアランプー県で学校・地域の協力を得て完成した車いす用トイレ。奨学金をもらって学校へ通っているスタッフくんが使い方を練習しています。

③ 障がい者スポーツ交流事業

～障がい者スポーツの普及をめざして～

スポーツ活動を通じて、障がい者が“屋外へ”、そして“社会へ”、そんな思いから WAFCA では車いすバスケットボールを応援しています。日本やタイで車いすバスケットボール交流大会を開催するとともに、タイで指導者の養成を行うなど障がい者スポーツの普及に取り組んでいます。また2005年は 7カ国より選手を招集し、愛・地球博開場でアジア交流大会を開催しました。(2008年度で終了)



愛・地球博開場で行った WAFCA 車いすバスケットボールアジア交流大会

野呂会員、高田会員 小林さん卓話がんばって下さい。
安保会員 お久しうぶりです。

■広告料 (株)中央石油 安保裕一郎会員
及明ビル管理(株) 小林眞樹会員

■出席報告

- ・10月21日(火) 49名中出席 33名(免除 3名)
- ・10月7日(火) 71.74%

くにや司法書士法人

國谷 大輔 会員

堀川町6-15 電話 30-4008

みちのく銀行 函館営業部

工藤 隆紀 会員

千歳町9-11 電話 23-8101

■ニコニコボックス

五十嵐稔会長、國谷幹事 国際奉仕委員会小林委員長 卓話よろしくお願ひいたします。

林会員 この度の母の葬儀に際しましては、東クラブの皆様にはいろいろとご尽力を賜りまして本当に有難う御座いました。感謝申し上げます。

平井会員 卓話がんばって下さい。

小林会員 卓話がんばります。